

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより 第6号

令和元年10月3日



# とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



## 人の温かさに支えられた修学旅行

校長 大神田佳明

立秋を過ぎ、さわやかな秋風を感じる季節となりました。8月26日から始まった2学期も今週は中間考査を迎え、生徒はテスト勉強や定期考査に真剣に取り組みました。

さて、9月9日（月）の未明に関東地方に上陸した台風15の影響で、千葉県では暴風による家屋の損壊や、停電など甚大な被害がありました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。本校は、9月9日に3学年の修学旅行の初日を迎えました。前日の夕方に、午前8時までのJR線の全面運休と、東京駅8時53分発修学旅行専用列車の運休が決定したため、生徒の集合時間を午前6時から7時30分に変更して、昭島駅での出席確認と班行動が始まりました。運行を始めたJR青梅線を待ち、昭島駅に着いた電車に順次乗車して、8時10分までに全員が集合場所の東京駅に向かいました。

しかし、JR線は運行本数も少なく通勤時間とも重なり、どの電車も満員で身動きが取れない程の状態でした。私が乗り合わせた電車も、立川駅でホームに溢れている乗客が乗り込み、一緒に乗り換えた七中生徒の何班かが乗り切れない状況でした。車内は多くの通勤客で込み合い、暑さと人から押される圧迫により、体調が悪くなり下車する生徒も数人出ました。このような状況の中で、乗客の方が生徒を介抱して水分補給のペットボトルを購入してくださったり、途中下車した駅では、駅員さんが駅舎で休ませてくださったりと、多くの方々から親切にいただき、無事に東京駅に到着することができました。全員が集合したのは12時を過ぎていたため、丸の内の地下広場で昼食をとり、臨時に13時39分発の修学旅行専用列車を増発していただき、16時26分に無事に京都に着きました。約5時間遅れの到着のため、残念ながら初日に予定した法隆寺・奈良公園は見学できず、宿舎のホテル三笠に向かいました。バスガイドさんや、ホテルの従業員の皆さんからは、「台風で東京は大変でしたね、お疲れ様でした。」と温かい言葉をかけていただきました。朝からトラブルに遭い、心身ともに疲れた一日でしたが、生徒は困難な場面でも班で協力し合い、助け合って行動できたことはとても立派でした。入浴や夕食後の楽しそうな生徒の笑顔を見ると、一日の疲れをすべて忘れることができました。

二日目の夜は、京都のホテルで「舞妓鑑賞」の体験学習を行いました。舞妓の「市絃さん」がステージで京舞を披露すると、生徒はその華やかで優雅な姿に見入っていました。生徒からの質問タイムでは、市絃さんが日常の生活を語ってくれました。まだ18歳という若さですが、毎日踊りやお茶などの稽古に励み、私生活ではスマホを持たず、髪を洗うのは週に1度など、華やかさの陰で日々精進している舞妓さんの素顔を垣間見ることができました。旅館の女将さんは「舞妓の修行中は、襖の向こうにいるお客さんの動きを感じて、動けなければ務まりません。人の心を感じる感性を養うことが修行です。」と説明してくださいました。舞妓さんは、日本の伝統と芸を守る素晴らしい仕事だと改めて感心しました。

最終日は、各クラスでバス行動しました。三つのクラスが、北野天満宮を参拝しました。ここは、学問の神様である菅原道真公を祭った神社で、多くの受験生や家族が合格祈願に訪れます。生徒は、これから始まる高校受験の合格を祈願し、お守りを買ったりおみくじを引いたり、それぞれが自分の思いを込めて参拝していました。クラスごとの昇殿参拝では、神主さんから合格成就のお払いを受けお話を聴きました。特に、「苦労を重ねて、徳を得る」というお話が印象に残りました。ぜひ、これからは自分の進路決定に向けて、地道に努力を重ねてほしいと思います。

修学旅行3日間を通して、3年生は明るく笑顔があり、男女とも仲良く温かい学年だと肌で感じました。修学旅行のスローガンである「深めよう仲間との絆」を実現できたとともに、お世話になった多くの方に、手紙を書いて感謝の気持ちを伝えるなど、挨拶や感謝の気持ちを忘れず行動した3日間でした。ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様に感謝いたします。



## 9月13日(金) 2年校外学習



実行委員を中心に計画し、各班で事前学習をし、コース決めをしました。当日、集合の昭島駅では遅れて来た生徒はなく、どの班も予定通りの電車に乗れました。多くの生徒が乗った東京行きは、混雑していましたが、うまく乗り切ることができました。班行動では、慣れていないためか、電車の乗り間違いや、はぐれた生徒が出た班もあったようです。そのため昼の浅草チェックポイントは、遅れてしまった班もいくつかでしたが、その後は比較的順調で、昭島駅チェックポイントは、予定より遅れた班は出たものの無事に解散することができました。なお、今回の校外学習では、全員がきまりをしっかりと守ることができ、行動中の問題もありませんでした。修学旅行にもこの経験を活かして欲しいです。

(二学年主任 石月 勇治)

## 生徒会本部役員選挙

9月26日(木)、生徒会本部役員選挙が行われました。1年生が5名、2年生が6名立候補しました。毎朝の校門での選挙活動は、例年にも増して大いに盛り上がりました。放送演説は、緊張しながらもしっかりと自分の思いを伝えていました。立会演説会では、どの候補者も応援演説者も具体的に公約を掲げ、堂々と演説を行えました。演説を聴いていて感心させられるほどでした。

結果は以下の通りとなりましたが、立候補してくれた人や、それを応援してくれた人たちにとって今回の経験はかけがえのないものになったと思います。投票をした人たちは、将来投票権を得たときに、一票の重みを感じて、実施に投票を行ってほしいです。(生徒会担当 中西宏一朗)

- 【会長】 洪田 舞奈(2年2組)  
【副会長】 上村 琉介(2年2組) 兼松 拓希(1年4組)  
【書記】 林 美佳(2年3組) 渡邊 陽菜(2年1組)  
本田 みはね(1年2組)



## セーフティー教室

9月27日(金)に、セーフティー教室が開催されました。「被害者にも加害者にもならないネット・スマホの賢い使い方」というテーマで、東京都ファミリールール事務局 山本啓史様よりお話をいただきました。SNSは便利な反面、危険が多くあること、使い方によっては他人を傷つけたり、法に触れる行為になることなどを、多様な資料や映画をもとに、わかりやすく説明していただきました。今後の生活で、ぜひ役立ててほしいと思います。また、その後は意見交換会も行われました。保護者の方々も、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

## 大林先生より ~ 異動先でも生徒のために ~

突然のご報告となつてしまい、大変申し訳ありません。この度、10月1日から立川第六中学校の特別支援教室へ異動となりました。半年間という短い期間ではありましたが、本当にお世話になりました。七中で得た経験を生かし、異動先でも生徒のために全力を尽くします。もしかしたら、七中生と再会することもあるかもしれませんね。そのときは、七中生らしい元気なあいさつが聞けたらとてもうれしいです。半年間、ありがとうございました。大林 巧

## 表彰~七中生、頑張っています!~

- 中学生の主張東京都大会 東京都教育委員会賞 張替 望恵  
(昨年度、立川市の主張作文大会で市長賞を受賞した「命は繋がっている」の作文が、今年度は東京都大会に選出され、都庁で発表し、教育委員会賞受賞となりました。)
- 立川市民体育大会 卓球中学1年女子 第1位 原田 ほのか  
○立川市民体育大会 卓球中学1年女子 第2位 原田 くるみ  
○東京都中学校学年別水泳競技大会 2年男子背泳ぎ 50M 第3位 31秒46 脇川 颯斗
- 立川市民体育大会 水泳競技 西砂川地区 中学生男子 50M平泳ぎ 第1位 34秒85 脇川 颯斗  
立川市民体育大会 水泳競技 西砂川地区 中学生男子 25M背泳ぎ 第2位 14秒75 脇川 颯斗  
立川市民体育大会 水泳競技 西砂川地区 中学生女子 50M平泳ぎ 第2位 38秒35 長谷川愛華  
立川市民体育大会 水泳競技 西砂川地区 中学生女子 25M背泳ぎ 第2位 17秒07 長谷川愛華
- 立川市市民大会兼立川市新体操競技会ジュニアフレンドシップ ジュニアリボン 第1位 庄村 向日葵